



4月の生活目標

新しい仲間と共によいスタートを切ろう

- ① お互いのよいところを知ろう！
- ② 決意を胸に、いい習慣を身に付けよう！
- ③ あいさつは「いつでもどこでも何度でも」



本校の生徒指導だよりのタイトルは、「希望 友愛 誠実」という本校の校訓です。この校訓は、学校の基本が人間関係づくりであることを示しています。学習もスポーツも学校行事も、全て人間関係を築いた上でのことなのです。さて、良い人間関係を築くためには、以下の3点が大切です。

1つ目は、三角形の人間関係を作ることです。心理学の中では、1対1の人間関係の構築は、小学校の中学年までで、高学年からは三角形になっていかなければならないそうです。三角形とは、「私とあなたと彼(彼女)」で会話などの関係が成り立つことです。三角形の人間関係は、学級などの集団を作る際にも不可欠なのです。

2つ目は、「許し」ということです。人間関係でもめた際には、相手を許すという気持ちが大切です。「許し」がなければ、ウクライナ紛争のような世界の戦争は、永遠の血の連鎖が続いていくのです。それ故に、宗教の世界では、必ず「許し」という行為があるのです。家族という小さな集団でも、「許し」が無ければ維持できません。でも、「許し」をするためには、次の3つ目の事が大切です。

3つ目は、お互いの良いところを知ることです。中学生は、周りが良く見えるようになる時期です。他者と自分を比較して、自信をなくしてしまうこともあるくらいです。そんな時に大切なのが、お互いに認め合うことなのです。お互いに相手の良いところ素直に認めることで、お互いに自信を持って生活していくことができます。足を引っ張り合う集団ではなく、お互いに高め合っていく集団になって欲しいのです。

いじめなどの犯罪行為には、厳しく対応していきますが、トラブルがあったからといって、2度と同じクラスや班にしないという対応はできかねます。トラブルを解決していきながら、人は成長していくのです。全員と友だちになれとは言いません。良い仲間をつくっていきましょう。

何気なくかけた言葉が相手に心の傷を負わせてしまうことがあります。お互いの人権を尊重し、認め合う意識を持って生活していきましょう。



<学校生活の基本について>

学校生活の中にはいくつかのルールがあります。

本来、ルールとは社会生活を守るために存在します。決して、人の生活を拘束するためではないのです。学校のルールは、まさに生徒を守るために存在します。ルールを守る限り、学習するための環境が整い、進学や就職をするための準備が整っていくのです。中学校は、まさに学習する場であり、進学や就職の準備をする場であるのです。つまり、本校のルールもこの2つの場を、ひいては生徒を守るために存在しています。ルールを守ることは、2つの場を守るだけでなく、地域社会から認められ、そのことによって自分たちに自信を持てるようになり、自信を持つことによって、芝川中生として誇りを持つことができるのです。